

街

階段を上がる

一步

また一步

さらにまた一步

その胸の小さな高鳴り

流れるみずおとのような

ゆらゆらと揺れるファイバーグラス

明滅しているかのようなひかりのつぶ

笑いさざめき

ひたむきに生きる

その意思の向かうところ

流れる人々を見下ろして

僕はまた一步

階段を上る

林立する直角のビルを見上げ

小さな高鳴りに導かれ

息をしている

身を預けることのできる者はどこか

この街をまるごと

ひとりの人格として認める

さらに一步

もう一步

血を受け継いだお前

街よ

僕をさらに押し出すがいい

一步

また一步

階段を上がる

星のまたたく空へと

届くまで

(2005.12.6)